

●UFB Fusion 組付けマニュアル●

●添付品

- ・UFB Fusion(以下 UFBF)本体
- ・INSIDE シール

●UFBF の特徴

- ・PS5 格闘ゲームに対応(追加ボード不要)
- ・PS/PS2/PS3/PS4/PS5(格闘)/XBOX(OG/360/One/XSX|S)
NintendoSwitch/WiiU/Retro Mini:PSClassic/MDmini/
NeoGeo mini/Astro mini/Windows/mac に対応。
- ・二つの SOCD クリーナーに対応
- ・PS4 コントローラーのタッチパッドの下押をサポート
- ・低遅延
- ・FIGHTING BOARD CABLE とピン互換。



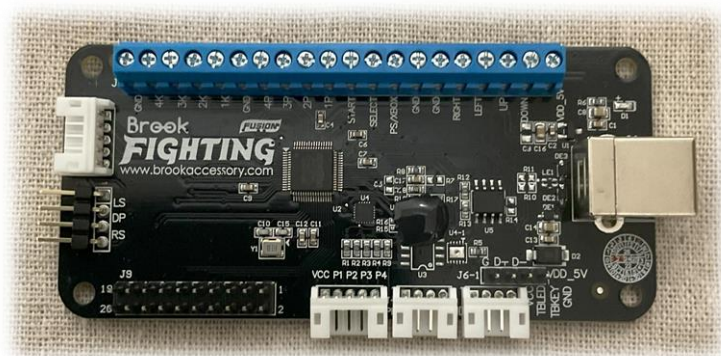
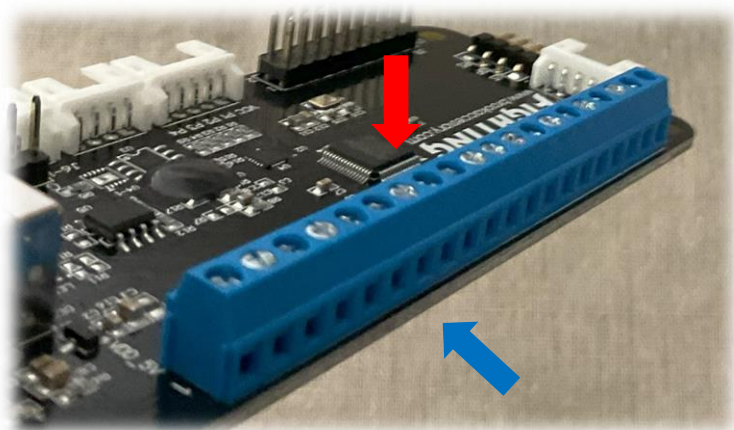
古いアーケードスティックに
UFBF を組み込んで、PC で低
遅延を実現したいと思います。
今回はリアルアーケード PRO
V3 SA(以下 RAP)を改造し

ます。スティックとボタン 9 個(白 8+灰色 1)を使えるようにします。その他

のボタンを使用したい場合、既存配線カットや基板上への配線追加が必要になるでしょう。

●組付けの前に

UFBF は写真の様に青い端子台があります。既存ケーブルを切断、被膜を剥

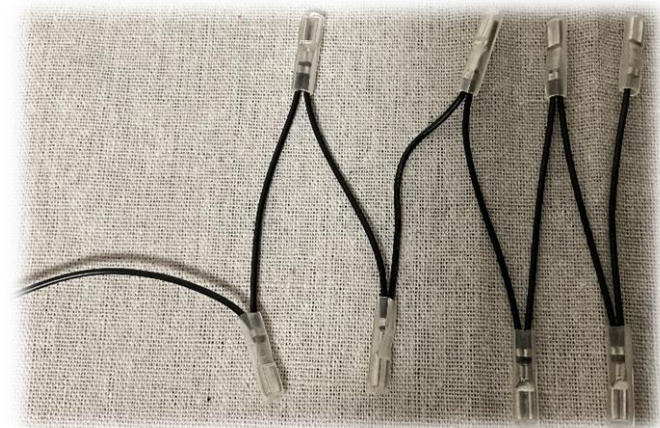
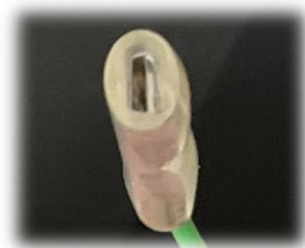


けば、ハンダいらずで簡単にネジ留めできます。

横の穴にケーブルを挿し込み、上のねじを締めて固定します。

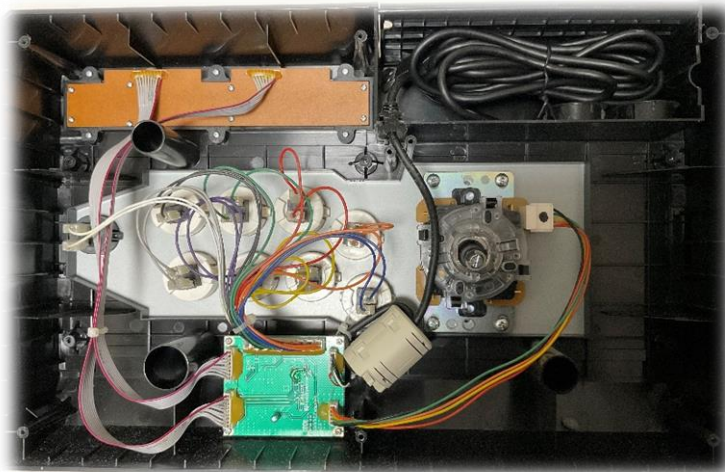


ですが、Brook Fighting Board CABLE を使用すれば、ケーブル先端にファストン端子 (下写真)がついていますので抜き差しだけで作業が完了できます。



また、GND 端子は数珠つなぎになっていますので、簡単にスッキリと配線できます。

●組付け手順



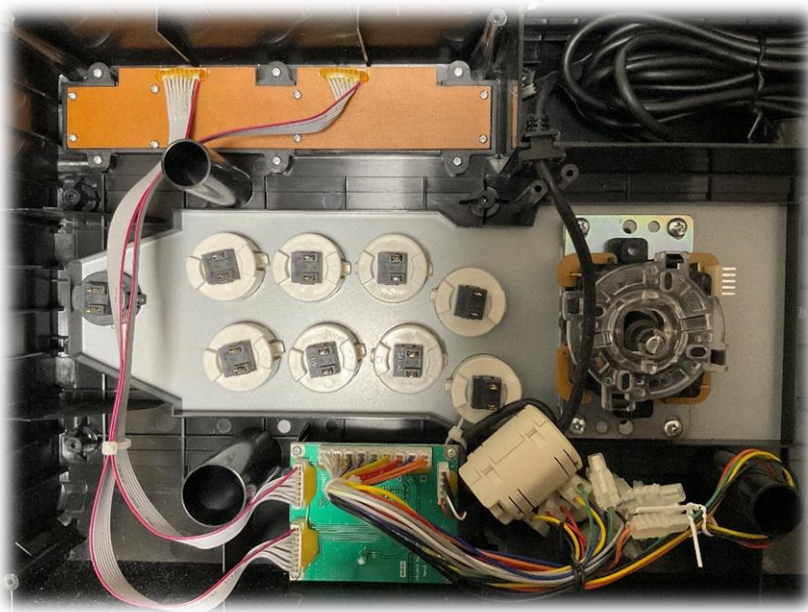
1.裏蓋を外す

RAP の場合、6 か所のネジを外します。ゴム足部分のネジは外す必要がありません。

2. ボタンとスティックのケーブルを外す

ボタン側の端子を曲げないように気を付けてケーブルを外しましょう。

スティックの白い端子(下写真)は抜け防止がありますので、軽く浮かすと抜けやすくなります。



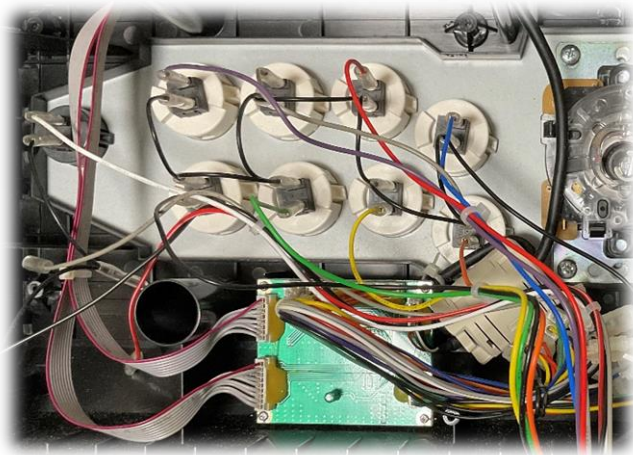
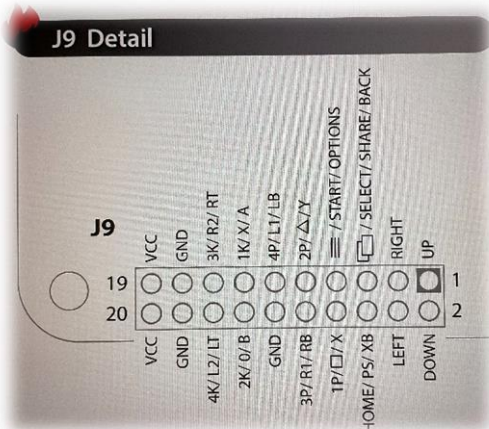
抜いたケーブルは使用しないので、切り取るか、空いたスペースにまとめておきましょう。

3. ケーブルのファストン端子をボタンの端子に差し込む

まずは数珠つなぎになっている GND ケーブルを接続してしまいましょう。ボタン一つにつき一つの GND ファストン端子を差し込んでいきます。これらのボタンに極性はないので、二つの端子のどちらに挿しても大丈夫です。白いボタン 8 ヶ所、灰色ボタン 1 カ所の、計 9 カ所です。



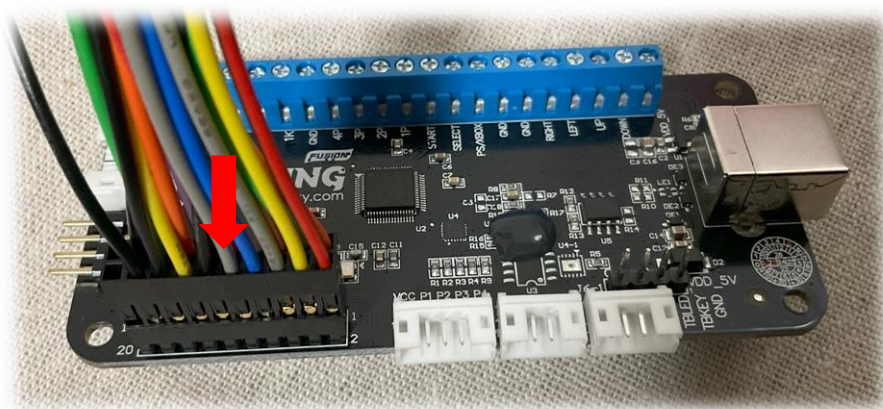
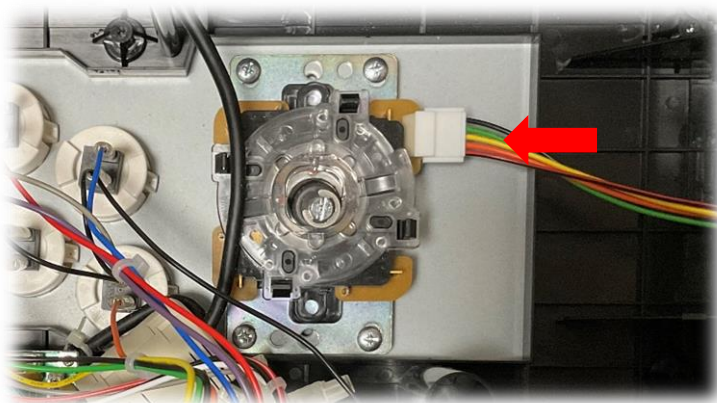
4. 残った方のボタン端子に、ファストン端子を差し込む



マニュアルの J9 コネクタ表で対応ケーブルを確認し、対応するボタン端子にファストン端子を差し込んでいきましょう。

全てのボタン端子に「一本の GND 端子」と「一本の信号線端子」が接続されていることを確認しましょう。

5. スティックに白い端子を差し込む



6. UFBF 本体に J9 コネクタを差し込むこのコネクタは間違い防止機構がないので、表裏に十分注意しましょう。

写真では左端にケーブルが無いのが正解です。

以上で接続完了です。USB ケーブルを挿し込みパソコンに繋ぎ、動作確認をしましょう。

問題がなければ裏ブタを元に戻し作業完了です。

●PC やゲーム機等との接続時の注意

指定されたボタンを押しながら、コントローラーをゲーム機または PC に接続する事で、機種モードの切り替えができます。

1P = PS3

2P = PS4、PS5

3P = Xbox 360

4P = Xbox One

1K = Wii U - Pokken Tournament

2K = Original Xbox

1P + 2P = PS Classic

1P + 1K = MD mini

※PC では Xbox 360 モード推奨

モード切替後、選択したモードは自動的に保存されます。